

## 第 40 回入学式式辞

木々の新緑、美しい草花が、うららかな春の日差しに映える今日、この佳き日に、めでたく入学を許可されました新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。

本日、ここに、ご来賓、保護者の皆様のご臨席をたまわり、兵庫県立須磨友が丘高等学校、「第 40 回入学式」を挙行できますことは、この上ない喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、いよいよ、高校生活スタートです。多くの方が初めての経験だったことでしょう、「入学試験」を受験され、見事、合格！そして必要な手続きが全て整い、本日の「入学許可」に至ったというわけです。実にめでたく、長い人生の中でも、とりわけ大きな節目となる出来事になることだと思います。

この度は、241 名が、55 校にもものぼる多くの中学校から集まってこられました。これまで、それぞれの人生を歩んでこられた皆さんですが、絶対的な共通点…それは、十数年前に、この世に生を受けられたということ。皆さんの「命」が、お母さんのお腹の中に宿ったと分かった時、それはそれは喜ばれたことでしょう。そして、あふれんばかりの愛情を注いでいただき、お腹をさすりながら話しかけていただき成長し、“誕生の日”を迎えられました。誕生したとて、我々人類の赤ちゃんは、決して一人では生きていくことができません。保護者の方は、ほかの何よりも優先して、皆さんに心を配り育て、中には仕事を辞めたり、職場を変えたりされた方もおられたことでしょう。そして、保育所に幼稚園、その後の、9年間の普通教育を受けさせる義務をしっかりと果たされ、今日の高等学校入学まで導いてくれました。保護者の方々には、さぞ、ご苦労も多かったことと推察します。

皆さん、余りにも有り難いことではないですか。そもそも、この世のすべては、「命」あつてのこと、この世のステージに立たせていただいたこと以上に、「有り難い」ことなど、存在するはずがないのです。いただいた「命」、育てていただいた「命」…今日の、この、皆さんの新たな出発、人生の大きな節目で、是非、今一度この点に思いをめぐらせ、二度とない、今日という日に、感謝の気持ちを保護者の方に伝えてください。

入学されたばかりの皆さんにお話しするのもおかしいかも知れませんが、今日から、約「千日」後が卒業式です。この「千日」をどのように過ごすかで、その後の人生は大きく変わります。先月、3月1日、この同じこの場所で、228名の37回生が、堂々と胸を張り卒業していかれました。多くの方が目標をかなえ、次のステージへと、意気揚々と進んで行かれました。嬉しい限りです。

「鍛錬千日の行 勝負一瞬の行」ということばがあります…これからの人生で、たびたび訪れる大切な勝負の時…これは、鍛錬の“千日”に比べれば“一瞬”と言えるでしょう。しかし、この大切な“一瞬”の勝負の場面で、納得の結果を積み上げながら、自己実現へ迫れるよう、高校生活“千日”で、自らを鍛え上げていただきたいと思います。

ただ、この時しっかりと押さえておいていただきたいこと…それは、「人生の目的」とは何なのか、ということ。これがぼんやりしては、困難に直面した時、すぐに心が折れたり、また、逃げ回ったり、小さなことにこだわりすぎたりし、後々に大きな後悔をする行動をとってしまうことがあるかもしれません。

私は、「人生の目的」「生きる目的」は、「幸いにも、両親から「人」としていただいた『命』に深く感謝し、この『命』が尽きるまで『魂』を磨き自らを高め、獲得した力で、少しでも世のため人のために役立つよう努めていくこと」だと考えています。

そして、実は私たちが、最大の喜び、幸福感を得ることができるのは、自らの行いや話し伝えたことが「世のため人のために役だった」と確認、認識できたときなのです。私たちは、互いに助け合い、人の役に立ちながら生きることで、はじめて幸福感が得られるよう創造されているのです。

これからの「千日」、この「人生の目的」を見失わず、余りあるエネルギーを、どうか、自らを高めるために使ってください。

そのためには、まずは「授業」を通して、学問の深み、人類の知恵の奥深さに触れながら、多くの「知識」を獲得し、それを自らの哲学で消化して「見識」まで高めつつ、学ぶことの楽しさ、学べることの幸せを体感してください。

加えて、「ホームルーム活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、そして「部活動」も、とても重要です。様々な場面で、色々な人と人間関係を築き、協力し、時にはぶつかりあって刺激され、磨きをかけ、「総合的人間力」獲得に努めてください。

「総合的人間力」、これは、「清く正しく美しい」ことのみを繰り返しても、強固なものにはなり得ません。「清・濁」入り混じるこの世の中、ストレスのかかることにも度々出会うことでしょう。そんな時には、「ストレスこそ、自らを高める磨き砂」と解釈する力も持ち合わせ、18歳で成人となる今、成人とならなければならない今、志高く、心身ともに頼もしく成長していかれることを願っています。

そして、何よりも、高校生活を楽しんでください。皆さんの秘めた能力は、自ら意欲的に取り組み、楽しめたときに、最高のパフォーマンスが発揮されます。抑圧され、強制される環境下での成長には限界があるのです。誰にも遠慮することなく、大きく飛躍、突き抜けていってください。可能性は無限です。限界を決めているのは、ほかの誰でもない、自分自身なのです。自らを信じ、限界から解放し、突き抜けていってください。それこそが、義務教育ではない高等学校教育であり、総合学科である本校がめざすところなのです。

もちろん、「一人で頑張れ」などとは言いません。優しく頼もしい先輩が、また、情熱と愛情にあふれた大勢の先生が、そして何より、「友愛に満ちた仲間が集まる丘」となることを願い、「須磨友が丘」と命名された本校で、奇跡的な確率で、今日、一緒に入学した、深い「ご縁」のある「友」がいます。「友」と語り合い、互いを認め励まし合い、補い合っ取り組めば、突破できないことなど、絶対にはないのです。一生の友を、一人でも多くつくってください。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。立派に成長したお子様の「晴れ姿」をご覧になられ、感慨も一入のことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

私たちは、本日、かけがえのない、各ご家庭の宝物、大切なお子様をお預かりいたしました。全職員、最善を尽くし、3年後には、それぞれの、大きな夢に向かって元気に、胸を張り旅立ち、皆様から「須磨友が丘に入学して、本当に良かった！」と喜んでいただけるよう、高等学校教育を、生涯の「生業」とする、プロの教育者としての誇りと責任にかけ、誠心誠意取り組んでまいります。

結びに、本日ご出席いただきました、ご来賓、保護者の皆様に改めてお礼申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、「式辞」といたします。

令和4年4月8日

兵庫県立須磨友が丘高等学校校長 川崎 芳徳